

---

## 検討の進め方（第 3 回までの振り返り）

---

# 検討のスケジュール（案）

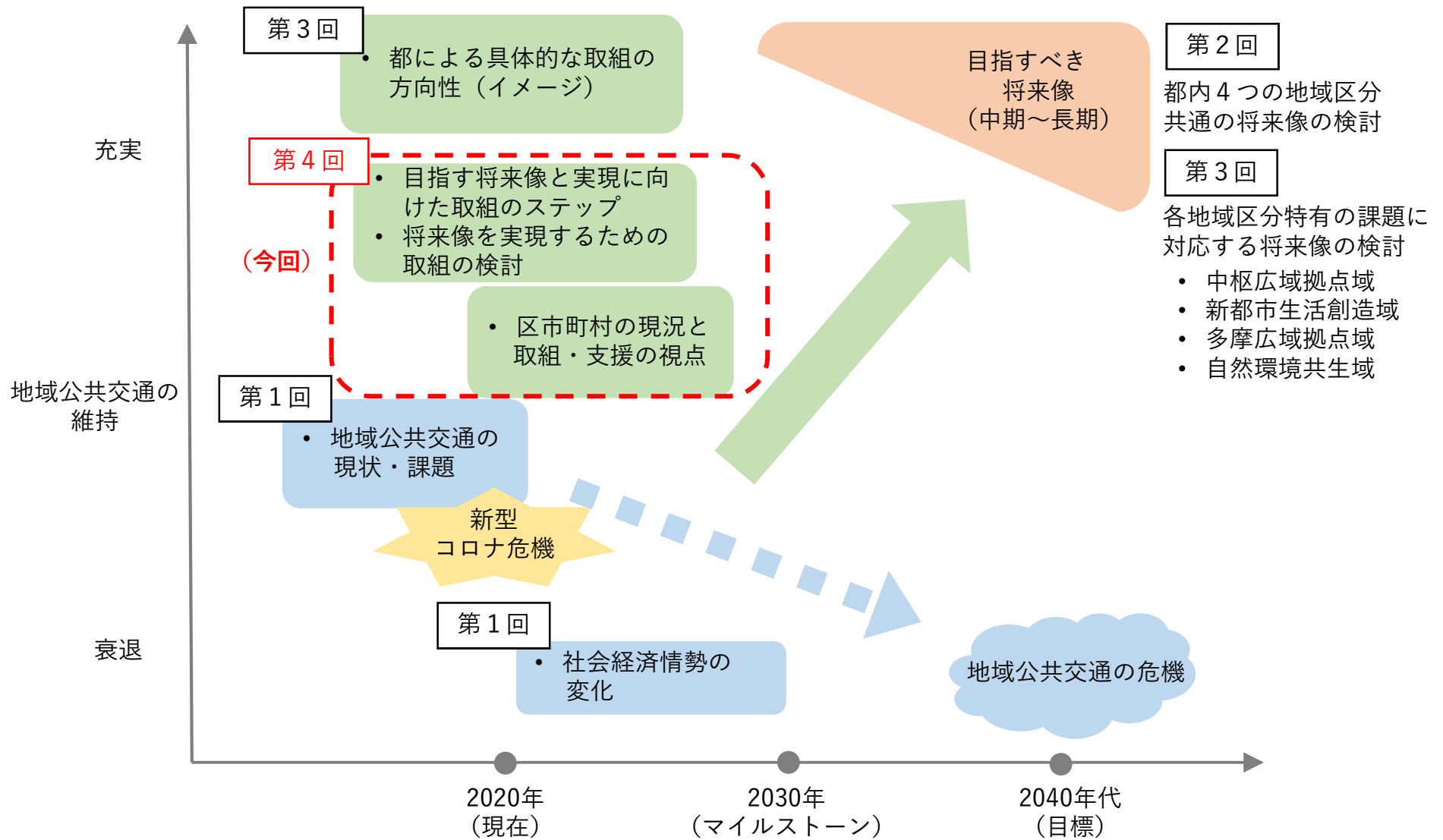
検討の進め方

第1回 令和2年10月9日（金） 東京都における地域公共交通の現状・課題等 <i>第1回行政連絡会</i>		
第2回 令和3年1月20日（水） 地域特性に即した地域公共交通の目指すべき将来像の検討① ・ 都内4つの地域区分共通の将来像 等		
第3回 令和3年3月10日（水） 地域特性に即した地域公共交通の目指すべき将来像の検討② ・ 各地域区分特有の課題と対応する将来像の検討 等 <i>第2回行政連絡会</i>		
第4回 令和3年6月4日（金） 本日 目指すべき将来像と実現に向けた取組のステップ、将来像を実現するための取組の検討		
第5回 令和3年9月下旬 都による「地域公共交通に関する基本方針」の策定に向けた方向性の確認 <i>第3回行政連絡会</i>		
第6回 令和3年12月下旬 都による「地域公共交通に関する基本方針（中間まとめ）」 <i>パブリックコメント</i>		
第7回 令和4年3月下旬 都による「地域公共交通に関する基本方針（最終まとめ）」 <i>第4回行政連絡会</i> 公表		

令和2年度

令和3年度

# 第4回検討会の位置づけ

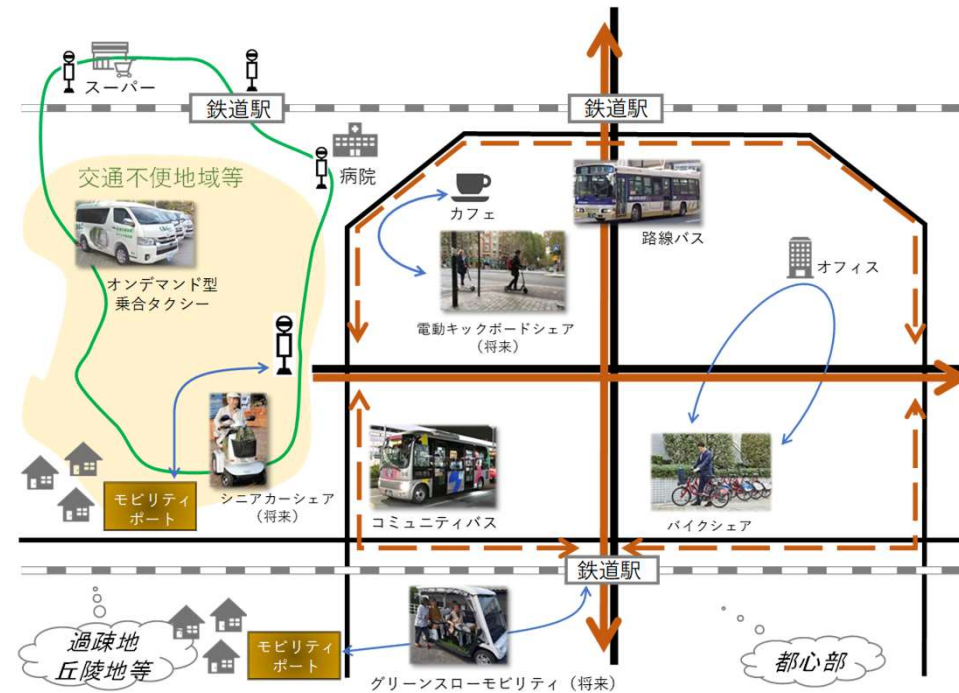


# これまでの主な意見と第4回資料への反映

主な意見	第4回資料への反映
<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>地域公共交通の対象</b>を明確に（第3回）</li> <li>○必要に応じて地域公共交通側から広域的なインフラに対して提言することも必要では（第1回）</li> </ul>	<p>【資料1】に、今回扱う<b>地域公共交通の範囲を整理</b>しました。鉄軌道など広域的なインフラとの乗換え利便性向上に資するデータ連携等も検討対象として捉えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>危機感の共有</b>が必要。これまで運賃収入で回ってきたものを今後どうするかは大きな課題（第2回）</li> <li>○<b>2040年代より手前で問題が顕在化</b>するのでは（第2回）</li> </ul>	<p>【資料2】の冒頭に、想定される2040年代の姿と、<b>新型コロナウイルスによる地域公共交通への影響等</b>について記載しました。</p> <p>2040年の将来像を示すことと併せて、その<b>実現に向けた取組のステップ</b>を設定しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>地域別</b>に、<b>ターゲット</b>となる対象を明確に（第2回）</li> </ul>	<p>【資料2】に、<b>4つの地域ごとに、主な対象</b>を示しつつ、将来像とステップを設定しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○抽象的、定性的。方面別の具体的、定量的なデータが必要では（第2回）</li> <li>○支援策にリアリティや具体性が無い。<b>現場を出発点</b>にすべき（第3回）</li> </ul>	<p>今回、新たに<b>区市町村ヒアリング</b>を実施し、地域の特性を踏まえた具体的な取組や課題を【資料3】に整理しました。そこから、<b>取組・支援の視点を抽出</b>しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>行政界を越えて市街地が連担</b>していることが東京の特徴。<b>連携を支援</b>するのが都の役割では（第1,2回）</li> <li>○公共交通の利用促進に向け、<b>マーケティングの視点</b>（どうしたらもっと利用して貰えるか）からも議論を（第1回）</li> <li>○都心に向かうばかりでなく、<b>地域内の移動や資源に目が向き始めたこと</b>への対応を（第2回）</li> <li>○事業者から行政へ乗降等の<b>データが届けられる仕組みづくり</b>が必要では（第2回）、データを社会全体が活用してより便利な交通を実現すべき（第3回）</li> <li>○コロナ禍の移動手段として<b>シェアサイクル</b>の有効性が見えてきた。<b>地域の連担</b>も重要（第2回）</li> <li>○<b>水素や、電動化と再エネ</b>のセットといった環境の要素も地域公共交通に取り入れていけると良い（第3回）</li> </ul>	<p>【資料4】に、<b>将来像を実現するための取組（案）</b>について整理しました。</p> <p>（取組と支援の基本的な考え方／区市町村間連携／公共交通の維持／地域住民や企業の参加／交通需要マネジメント・結節機能向上／MaaS導入・データ利活用／新技術導入促進 など）</p>

## ○ 本検討会の検討範囲

- ・ 鉄道駅からの端末の公共交通
  - ・ 鉄道と端末交通との結節機能
  - ・ 交通不便地域等の移動手段
  - ・ 交通需要マネジメント施策
  - ・ シェアリング事業を行う、マイクロモビリティ
  - ・ 走行空間の確保・充実に向けたソフト施策
  - ・ 上記に関連する都市政策等
- ※ 福祉輸送など、特定少数向けのサービスについては別枠



## ○ 東京の地域公共交通に関する課題の整理

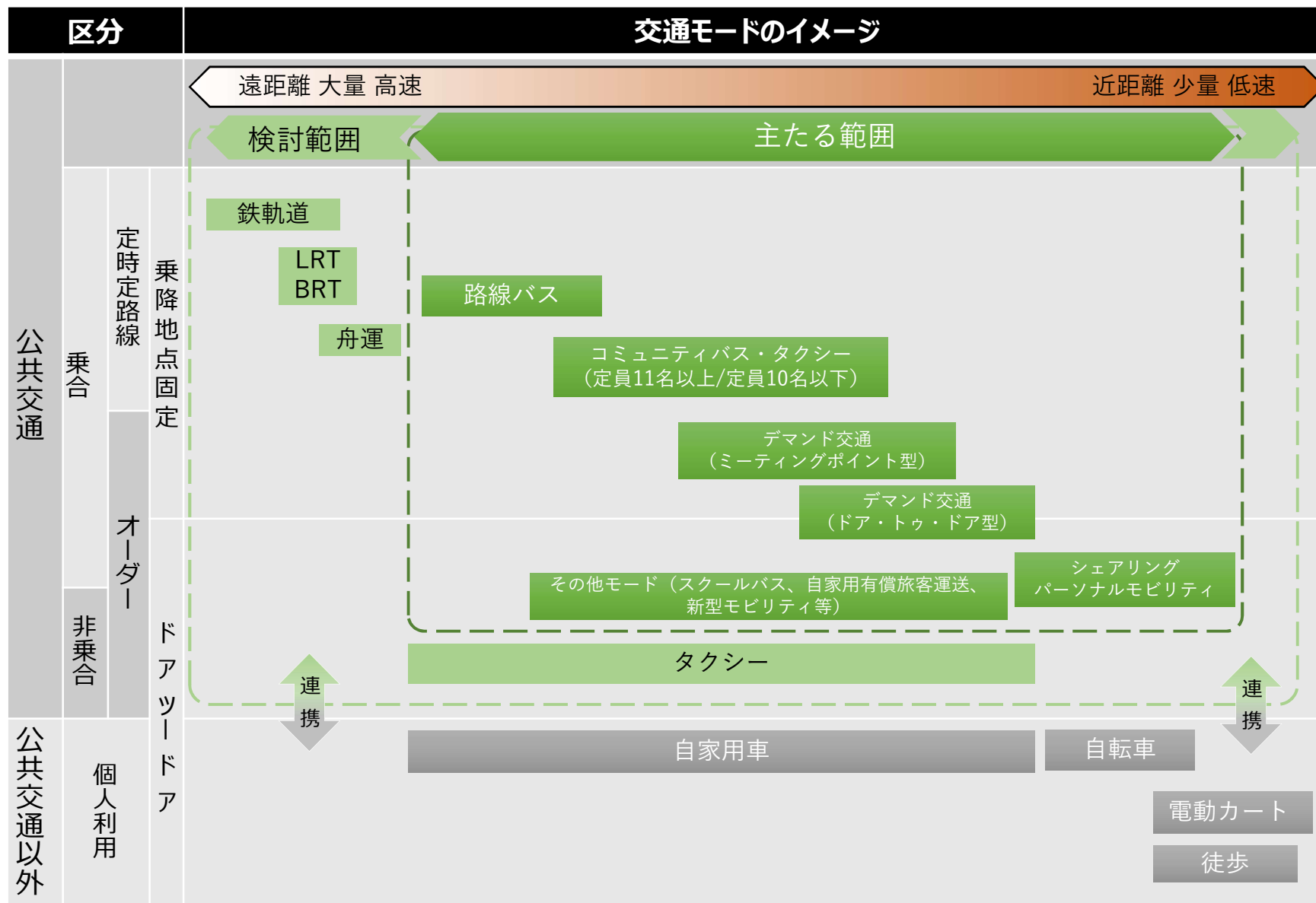
### < 短期的な課題 >

- ・ 交通不便地域への対応
- ・ 運転免許返納に対する不安の解消
- ・ 交通サービスの担い手不足への対応
- ・ 新型コロナウイルス対策の長期化への対応

### < 中・長期的な課題 >

- ・ 公共交通機関の利用者の減少
- ・ 財政負担の増加、運行効率化への対応
- ・ 行政界を越える移動需要への対応
- ・ 環境改善に資する施策の推進
- ・ 公共交通を自ら守り育てる意識の醸成

# 地域公共交通の範囲（案）



※ 複数の交通モードを繋ぐ交通結節点についても検討の範囲とする。